令和2年度(2020年度)第1回 豊中市保健医療審議会 議事録

1. 日 時 令和2年8月14日(金)

2. 場 所 文書会議

3. 案 件

- (1) 保健所各課 令和元年度事業実施報告および
令和2年度事業実施状況について
- (2) 新型コロナウイルス感染症に対する豊中市保健所の対応について

4. 出席者 (敬称略)

(1) 委員 (名簿順) : 17名

- 会 長 内藤 義彦(武庫川女子大学)
- 副会長 地 寄 剛史((一社)豊中市医師会)
- 委 員 横山 美江(大阪市立大学大学院)
- 岡本 千加((一社)大阪府助産師会)
- 真鍋 哲也((一社)豊中市歯科医師会)
- 芦田 康宏((一社)豊中市薬剤師会)
- 高橋 多美男((社福)豊中市社会福祉協議会)
- 川本 年男(豊中公衆衛生協力会)
- 村上 功(豊中市介護保険事業者連絡会)
- 本間 太郎(豊中市病院連絡協議会)
- 西村 栄一(豊中市民生・児童委員協議会連合会)
- 山西 洋一(豊中商工会議所)
- 古川 悦子(豊中市健康づくり推進員会)
- 前田 雄治(豊中市老人クラブ連合会)
- 齊藤 健文(連合大阪北大阪地域協議会豊中地区協議会)
- 東 久美子(市民委員)
- 吉川 秀樹(市立豊中病院)

質問要旨	回答
<p>直近のコロナ蔓延に対する保健所が掴んでいるデータ（分析、検査体制、数値など）資料を提供してください。</p>	<p>以下のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/kenko_hokeneisei/kekkaku_kansensho/oshirase/index.html</p>
<p>これまでの市内感染者数の地域別・年齢別・男女別の推移をお知らせください。</p>	<p>豊中市のホームページに最新の市内感染者の詳細を掲載しておりますので、ご覧ください。 https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kenko/kenko_hokeneisei/kekkaku_kansensho/oshirase/corona_patient.html なお、地域別詳細につきましては、公表することにより誤った認識を市民の方に与える恐れがありますので、公表しておりません。</p>
<p>今後の動向と推移をどのように考えていますか。</p>	<p>今後のコロナの推移については現段階では予測することが困難です。新型コロナウイルスに有効なワクチンが完成し、接種が国民にいきわたれば、徐々に沈静化すると予想されますが、単年度では難しいと思われます。 今後、感染のピークも何回か到来することも予測されるため、引き続き感染症対策への啓発に力を入れていきます。</p>
<p>現在、団体の全事業を中止していますが、今後事業を再開するにあたっては、どのような注意が必要でしょうか。</p>	<p>会議開催や事業実施の際には、以下のような点を特に注意してください。 ・身体的距離の確保（最低1m）、マスク着用徹底、手洗いの励行、3密の回避 ・参加者の健康状態の確認、場所の換気、出入口への消毒設備の設置 など ※豊中市が作成しました「イベント・会議等開催時の感染拡大防止対策チェックリスト」を同封しますので、ご活用ください。 また、以下のホームページに業種別ガイドラインも掲載されておりますので、併せてご覧ください。 https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00028.html</p>
<p>コロナ感染の啓発に、市内に設置されている防災無線を活用した注意勧告はできないでしょうか。</p>	<p>防災無線は、災害時の避難勧告等、重要な防災情報を伝えることを基本としており、主に広域避難場所や一時避難場所に設置しております。音声につきましては、建物の立地条件や遮音性能、交通状況、天候等によって届き方に差異が大きく、家屋内への情報伝達には適しておりません。 その為、新型コロナウイルス感染症に関する啓発や情報提供については、防災無線ではなく、広報、ポスター、公式ツイッター、ホームページ、国や府の報道など、様々な手段を用いて市民の皆さんに情報伝達を図っていきたいと考えて</p>

令和2年度 第1回豊中市保健医療審議会（文書会議） 審議概要

	<p>おります。</p>
<p>自殺率が増加しているように見受けられるが、何か要因などはありますか。</p>	<p>自殺者の状況については、平成25年に80人となって以降は、50～60人で経過していましたが、平成30年は75人と前年より増加しました。これは、大阪府の統計でも同様の状況となっております。一方、令和元年は45人に減少しています。また、平成30年の自殺の原因・動機については、警察庁の統計で、「健康問題」、次いで「勤務問題」「家庭問題」「経済・生活問題」となっています。</p> <p>自殺は、健康問題、失業や倒産、長時間労働などの社会的要因を含む様々な要因と、その人の性格傾向や家族の状況、死生観などが複合的に作用した結果であり、原因となる問題が単一でそれを取り除けば予防できるというものではありません。そのため、自殺に関するご相談に対しては、保健所のみならず、医療、福祉、くらし、教育、人権所管課など多分野・多機関で連携し支援を行っています。新たに新型コロナウイルス感染症の影響により経済的打撃を受けた方などが、自殺するまで追い込まれる前に、辛くなったら早い段階で相談いただけるよう、市民に向けた知識の普及啓発を引き続き行っていきます。</p>
<p>歯科健康診査の受診率は、歯科診療所との連携の状況によりさらに受診率が上がる可能性があるのではないのでしょうか。</p>	<p>令和元年度から、一般社団法人豊中市歯科医師会と豊中市保健所とで「豊中市民のすこやかな口腔の健康を守るために」を大目標として歯科保健プロジェクトを立ち上げ、様々な協議を重ねております。歯科健康診査に関しましては、受診率のアップと精度管理に重点を置いて進めており、受診率アップに関しては、口腔から全身疾患への関連性等を表わしたポスターを作成し、医科歯科薬科介護の連携として各機関に配布し周知協力を依頼しております。更に令和2年度の歯科健康診査対象者全員に受診票(歯科健康診査が目立つように工夫したもの)を個別送付しております。</p> <p>また、歯科医師会でも研修会、総会等を活用し会員に受診率アップへの働きかけを行っていただいております。令和2年3月の受診数は、コロナ禍であるにも関わらず前年3月の3割増となっております。残念ながら、その後緊急事態宣言による健康診査の中止等が生じましたが、今後も受診勧奨策を検討・実施して参りたいと考えております。</p>